



継がれゆく伝統が、今年も初夏の到来を告げる。

5月の大型連休を祭一色に染める伊方地区の赤坂神社と白鬚神社の神幸祭。今年も囃子と太鼓の音色が伊方地区にこだまし、山笠を引く威勢のいい掛け声と共に初夏の到来を告げました。

神幸祭の前日にあたる5月3日には「山笠競演会」が行われ、源平や戦国時代の合戦をあしらった山笠が公民館方城分館前に集結。電飾をまとった山笠が上下左右に揺らす「がぶり」や傾きながら回転する「練り回し」を豪快に披露しました。夕闇に光りの筋を描き、やがて会場を光りの渦へと包み込みこんだ山笠群。心を一つにして勇壮さを競い合う姿に、約500人の観客から惜しめない拍手が送られました。

5月4日から2日間行われた神幸祭は、前日の華やかな雰囲気とは一変して、厳かな雰囲気をもたらします。江戸時代からの歴史を持つ両社の神幸祭は、御輿を守り、伝統を重んじながら神事を遂行。時を経て、より大きくきらびやかに変化を遂げた山笠が五穀豊穡・無病息災を願い、今年もそれぞれの個性を生かして各地区を颯爽と駆けぬけました。

山笠

photo report yamagasa



童心会



栄友会



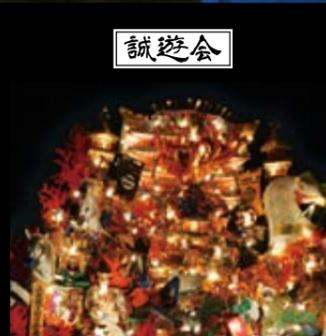
西流会



東和会



新門下



誠遊会



後谷同好会



新友会

